

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	10	05	11	02	04
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	埋蔵文化財	意図	適正に記録保存されるようにする。
事業内容	開発行為によって消滅する可能性がある埋蔵文化財包蔵地に対し、事前に適切な発掘調査を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和50年の文化財保護法改正で、開発行為に先立つ埋蔵文化財発掘調査が明確化され、本市では加特定地区・平和台地区・三輪野山第2地区など区画整理事業により発掘調査が増加した。平成12年の法改正では、埋蔵文化財に係る諸権限が文化庁から県教育委員会に移譲された。調査費用の標準化や出土遺物の選別化が全国的に進められた。また、民間発掘調査会社の参入により自らの発掘調査は減少した一方、民間発掘調査会社の監理業務が加わった。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	発掘調査実施件数	10	10	9	件	→→
②	発掘調査面積	10,409	5,611	4,004	m <sup>2</sup>	→→	
③	発掘調査監理業務件数	1	1	0	件	→→	
④	発掘調査監理業務面積	8,080	6,000	0	m <sup>2</sup>	→→	
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	発掘現場では、現地説明会を開催し、考古学や埋蔵文化財保護についての教育普及活動を実施している。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	42,976,049	73,587,773	70,509,479				
事業費(b)(円)	31,920,049	32,845,973	33,726,919	・発掘調査実績 確認調査 2件 本調査 7件 ・発掘調査件数は前年度並みであるが、鯉ヶ崎三本松古墳調査が特殊な調査のため、面積が減少した。 ・調査担当者は、自分の調査現場と整理報告書刊行業務のほか、博物館業務を並行して進めなければならない状況にある。			
うち一般財源	29,075,049	30,296,973	31,129,919				
職員給与費(c)(円)	11,056,000	40,741,800	36,782,560				
人役・職員(人)	1.60	1.70	1.30				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		28.50	27.80				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	公共区画整理事業に伴う発掘調査を進める。	③取組の課題	大規模公共事業に対しての体制を検討する。
②今年度(H28)に実施した取組	区画整理担当課と密接な連絡・協議をして区画整理事業計画に即した発掘調査を実施した。	④今後の改善計画	大規模な民間開発に即応できる発掘調査体制の確立。